

日本バプテスト連盟 奈良キリスト教会附属子ども園 リトルファンファン

取組概要

【効果】リトルファンファンは、創立当初より一貫して、「自然保育の中で育まれる生きる力の基礎となる実践」を行っています。週1回のどんぐりの森は、園から歩いて12・3分の場所にあり、起伏の多い自然の中で、思いっきり走り回ったりできます。がけを登ったり、木々の中を探検に出かけたり、体幹も鍛えられていきます。思いがけない虫との出会い、落ち葉の下から芽を出したどんぐり、子ども達の想像力も一層豊かに働くことに繋がります。その中で、生まれるトラブルは、いたって少なく、葉っぱや、どんぐりは、お店屋さんにもおうちごっこにも活躍し、仲間同士のやりとりは、取り合うことではなく、協力する姿に変えられていきます。望ましい子ども同士の関係を、自然な形で心地よく学ぶことができると感じます。自然そのものが、感性豊かな教師そのものと気付かされます。天気の良い日は、園内では砂場が大活躍します。穴を掘って洞窟の様に、どこまでも掘り進んだり、水を流して川にしたり、その様な自発的な遊びが生まれると、そこには、子ども達の協力する姿が見られ、役割さえ自然に生まれ、望ましい関わりが、見て取れます。入園式を彩ったチューリップの花びらで染める生成りの布は、5月には子ども達の元気に成長する姿を願う、こいのぼりになります。園庭にはジューンベリーが6月に実をいっぱいつけ、夏はトマトにきゅうり、ぶどう棚には葡萄がたわわになります。プールの後の紫蘇ジュースに梅ジュースは、季節の恵の味覚を育て、五臓六腑にしみわたります。秋は、園の畑のお芋を掘り、どんぐりの森で焼き芋パーティーをします。渋柿を軒先に吊るして、美味しくなるのを待ちわびます。園庭で、サンマを炭で焼いて、一匹ずつ頂きます。戸外でいただく沢山の自然の恵みは、季節のにおいと、感謝の気持ちを育みます。その感謝は、地球を大切にしようとする心を次世代にまで繋げていく力の根っこになると信じます。冬は、園庭に張った氷やつららが、子ども達の目を輝かせます。お弁当や、給食も、お天気の良い日は、デッキでいただきます。これらのひとつひとつを、特別な事とは捉えていません。この様な五感に働く活動は、この時期の子ども達には、当たり前に必要な事です。私たちの様な園が、増えてくることを心より願っています。



【内容】天気の良い日は、園内では砂場が大活躍します。穴を掘って洞窟の様に、どこまでも掘り進んだり、水を流して川にしたりします。入園式を彩ったチューリップの花びらで染める生成りの布は、5月には、こいのぼりになり子ども達の元気に成長する姿を願います。園庭にはジューンベリーが6月に実をいっぱいつけ、夏はトマトにきゅうり、ぶどう棚には葡萄がたわわになります。それらを自由に摘んで食べたり、給食で食したりします。秋は園内畑のお芋を掘り、どんぐりの森で焼き芋パーティーをします。渋柿を軒先に吊るして、美味しくなるのを待ちわびます。園庭で、サンマを炭で焼いて、一匹ずつ頂きます。



日本バプテスト連盟 奈良キリスト教会附属子ども園
リトルファンファン

【内容】落ちていた木々を拾い集め、木の下におうちをつくりおうちごっこをしたり、落ち葉を集め、落ち葉合戦や落ち葉プール、お昼ごはんは敷物を広げ食べる。雨上がりの森では、地面がぬかるんでいる為、裸足になり泥遊びをしたり、傾斜・起伏のあるところで走り回ったり、木登りをするなど、身体を存分に使い遊ぶ。
枝を集め、園から持っていった毛糸で十字編みを作ったりする。

